



1 中間考査終了 → 学校推薦型選抜入試、総合型選抜入試が始まります

中間考査が終了すると、いよいよ推薦型、総合型の入試が始まります。ほとんどの学校で小論文や面接が課されます。中間考査後は、担当の先生からより一層本格的に指導を受けることになります。一般入試の受験勉強と両立させながら、本番に向けて準備を進めていきましょう。なお受験が終わった後や合否通知が届いた際には、指導を担当いただいた先生方への報告をお忘れなく。なおこれは一般常識です。当然のこととして普通にこなしていきましょう。

① 受験の出願について

出願期間、出願方法など各学校によって異なります。各家庭で要項を（自分だけでなく、おうちの方にもお願いして一緒に）熟読して、ミスのないようにしてください。最近はインターネットによる Web 出願がほとんどです。送信ボタンを押す前に、必ず入力事項を確認（本人および保護者で確認）するとともに、**忘れずに印刷**しておきましょう。また、最近では、出願時の写真が進学後の学生証の写真に使われることが増えています。高校の制服以外の写真を使用するように指示が出ている大学もありますので、その際はきちんとした服装をして写真屋さんで撮ってデータをもらって使って下さい。また、受験料の振込みなど、保護者の協力が必要になってきます。出願直前になってからではなく、日頃からおうちの方とよく話をしておきましょう。とにかく要項をよく読んで、準備を早めにするのが大切です。郵送する場合には、「必着」なのか「消印有効」なのかも要確認です。ちなみに「消印」って何か分かりますか？ ポストに入れても消印が翌日になることがあるので要注意です。基本的には営業時間内に郵便局の窓口を持って行き、「〇日までに届きますか？」「今日の消印でお願いします」と確認して送ると良いでしょう。簡易書留の手続きなども窓口のみです。

② 模試について

10 月 3 日（土）全統記述模試、看護模試

10 日（土）ベネッセ駿台記述模試

17 日（土）・18 日（日）全統共通テスト模試

31 日（土）・11 月 1 日（日）ベネッセ駿台共通テスト模試、

10 月から 11 月は大事な模試が続きます。特に 10 月は 3 週連続して模試があります。これらの模試は、1 月の共通テスト本番の自己採点結果を各業者（ベネッセ、河合塾）に送付し、志望校の合否判定をする（出願先を決定する）データとして重要な模試です。データ不足にならないよう、欠席することなくすべて受験しましょう。大学の推薦入試を受験する人でも、一般入試を受験する可能性があるので必ず受けましょう。つらいかも知れませんが、踏ん張りどころです。忍耐力や体力も受験には必要です。頑張れ！

2 学ぶ雰囲気について

今までの進路講演会やガイダンスで、「学習する環境を作ること」、「頑張っている人を応援するような人になること」、「受験は団体戦だ」という話を幾度となく聞いてきました。受験勉強は個人戦のようであるが団体戦です。「**学ぶ雰囲気**」がとても大切なのです。

次は、かつて大手の進学塾の講師をしていた方の「最高のチームの作り方」の話です。

「最高のチームの作り方」

これから私たちが体験した非常に不思議な出来事をお伝えします。話を分かりやすくするために、仮に「A教室」、「B教室」、「C教室」としてお話しします。この3つの教室の最上位クラスに、難関校を目指す受験生が10名ずついたとします。つまり、3教室合わせて30名の受験生です。この30人の学力はほぼ同じ。また同じ講師が3教室を回って授業を行い、テキストも同じものを使って教えています。

ある年、この30名の中から15名の難関校合格者が出ました。この15名の合格者が、それぞれ3つのクラスに5名ずつ分布していたら何も不思議ではありません。なぜなら同じような学力、同じテキスト、同じ講師から学んでいるからです。ところが、結果はそうはならなかったのです。各教室の合格者数は次の表のとおりでした。

教室名	合格者数
A教室	8名
B教室	5名
C教室	2名

合格者15名のうち8名がA教室の生徒、B教室は平均的な5名、そして何とC教室は惨敗の2名でした。私たちは非常に驚きました。合格者8名を出したA教室にはどんな特徴があったのか、B教室やC教室との違いは何なのか。受験後に1人ひとりにヒアリングを行い、「どんな勉強をやったのか」「どんな教室の雰囲気だったのか」を聞いていったのです。その結果、ある事実が分かってきました。

合格者2名のC教室は、生徒同士の関係性が薄く、休み時間などほとんど周囲と関わりあうことがなかった様子でした。そればかりか自分だけが合格できればよいという意識があり、他のみんなはどうでもいいと考えていたようでした。彼らは個人的にはそれぞれ優秀ですが、10名の心はバラバラでした。

合格者5名のB教室の生徒は、仲良しグループでした。仲はいいけれど、お互いの勉強には干渉せず、塾の外ではあまり交流がありません。塾のない日は自宅でそれぞれ勉強していました。

合格者8名のA教室は、全員が「チーム」でした。グループとチームは違います。何が違うのか？例えば、数学の苦手な子がいたら、数学の得意な子が教えて友達の成績を上げようとしています。スマホでゲームをしている子がいたら、誰かが「お前、何しとるんや。俺らはあの学校に全員で受かるうって約束したんと違うんか。一緒に合格しようぜ。合格したら、そのゲームをやり倒そうぜ」と言うんです。すると周りの子も「そうや。スマホをしまつてこっち来い」と言うんです。塾のない日は誰かの家に集まってみんなで勉強します。弱音を吐く子がいたら、誰かが励まします。

A教室の生徒の合格体験記には、こんな言葉がありました。「僕の合格は、このクラスの友だちがいなければ決して成し遂げられなかったと思う」

このようにグループがチームに変わり、共通の目標に向けてお互いにサポートし合い、全員で目標を達成しようとした時、ものすごい力が起こってくるんです。

あなたのクラス・補習メンバーは「グループ」ですか？それとも「チーム」ですか？ 残念ながら授業の休み時間や昼休みの様子を見ると、まだまだ「グループ」のようなところも感じます。模試結果からも、現在の学力レベルと合格レベルの差が大きい人が多いです。今後、「チーム」になれるかどうか、目標達成の重要な鍵となります。残り僅かな期間ですが、「チーム」になって、互いに学びあい教えあいながら「勉強する雰囲気」をつくり、皆で進路希望を実現しましょう。

また、今後進路が決まった人は、まだ決まっていない人のサポートをしてください。勉強を教えるなど直接的なサポートでなくても、「チーム」の一員として、学ぶ雰囲気を維持し、しっかりとした学校生活を送ることで間接的なサポートとなります。

文化祭の思い出 (2026. 9. 12)

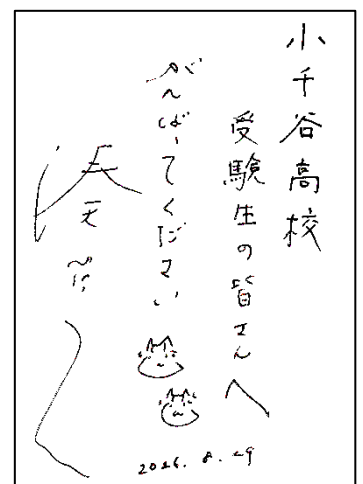


<保護者の皆様へ>

■10月1日(木)・6日(火)に指定校推薦者対象説明会を実施します。

校内選考会で指定校推薦での出願が認められた生徒には、**保護者同席**のもとで説明会を実施します。先般お子様に配付した「希望日票」を現在担任に提出いただいているところです。担任から日時の変更連絡がないかぎり、希望した日にご来校ください。両日とも17時開始で30分程度を予定しています。

私たちが思っている以上にお子様は受験に不安を感じています。誰もが経験するこの試練を乗り越えて小千谷高校を卒業して欲しいと思っています。



日	曜	学校行事関係	検診・部活動関係 他
1	木	○	
2	金	○ 関東上級学校見学②	
3	土	全統記述模試③ 第2回英検①②	
4	日		バスケットボール部 U17リーグ戦(本校)
5	月	○	
6	火	○ 性の講演会①	
7	水	○ (AM)	
8	木	○ 球技大会	
9	金	○ 球技大会(PM)	
10	土	ベ駿記述模試③	
11	日		
12	月	スポーツの日	
13	火	○ (金4) ①	バドミントン部 顧問会議(本校会議室)
14	水	○	バスケットボール部 顧問会議(本校会議室)
15	木	○	
16	金	○ オープンスクール (PM)	
17	土	全統共テ模試③ 全統模試②(希望者)	写真部 市民セミナー(小千谷市) バスケットボール部 U17リーグ戦プレーオフトーナメント
18	日		↓
19	月	○	
20	火	○	
21	水	○	バドミントン部 秋季地区大会(小千谷市)
22	木	○ オープンスクール (PM)	総合文化祭 美術・書道展(新潟市)
23	金	○	↓
24	土		ソフトテニス部 県新人選抜大会(柏崎市)
25	日		↓ 卓球部 魚沼地区大会(小千谷市)
26	月	○	
27	火	○	
28	水	○ (PM)	
29	木	○	陸上競技部 新潟県高校駅伝(新潟市)
30	金	○ 総合学力テスト①② 地域貢献活動	↓
31	土	総合学力テスト② ベ駿共テ模試③	
人権教育・同和教育授業 (バイク実技講習)			